

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成28年5月12日 (2016.5.12)

【公開番号】特開2015-293(P2015-293A)

【公開日】平成27年1月5日 (2015.1.5)

【年通号数】公開・登録公報2015-001

【出願番号】特願2013-127574(P2013-127574)

【国際特許分類】

A 4 3 C 11/20 (2006.01)

A 4 3 C 1/06 (2006.01)

【F I】

A 4 3 C 11/20

A 4 3 C 1/06

【手続補正書】

【提出日】平成28年3月22日 (2016.3.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 9】

次に、上記にて説明した靴紐巻取装置 1 の各部品を組み付けて製造する方法について説明する。

まず、靴紐巻取装置 1 のベース部材 3 にリール 4 を装着するため、2ヶ所の靴紐引出口 3 5 にそれぞれ靴紐 2 の先端を挿入し、リール収納部 3 2 側からその靴紐 2 の両端部を引き出す。

そして、リール 4 に 6ヶ所設けたワイヤー挿通孔に靴紐 2 の先端を縫うようにして順次挿通することで、靴紐 2 の両端をリール 4 に固定し、リール 4 をリール収納部 3 2 内に配置する。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 0】

当該バネ部材 8 の他端部（バネ部 8 2）は、前記ダイヤル 6 の内面に設けた係止部 6 2 と常時当接しており、部品の摩耗を防ぐことができる。

なお、「常時当接」としたのは、靴紐巻取装置 1 の信頼性、耐久性、操作性を優れたものとし、かつ、ダイヤル 6 のガタつきを排除するためであり、靴紐巻取装置 1 の動作に支障がない限り若干の「遊び」が存在することを全く排除する趣旨ではない。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 7】

1 靴紐巻取装置

2 靴紐

3	ベース部材
3 1	フランジ
3 2	リール収納部
3 3	回転軸
3 4	ギヤ
3 5	靴紐引出口
4	リール
4 1	靴紐巻取ドラム
4 2	回転軸部
4 3	環状部
4 4	溝部
4 5	係止突起
4 6	フィン
<u>5</u>	<u>ストッパー部材</u>
5 1	爪
5 2	フィン
5 3	取付用爪部
5 4	軸穴
5 5	斜面
6	ダイヤル
6 1	係合穴
6 2	係止部
6 3	バネ収納空間
6 4	軸穴
6 5	係止段部
7	軸部材
7 1	軸受部
7 2	フランジ
7 3	ネジ挿入孔
8	バネ部材
8 1	軸部（一端部）
8 2	バネ部（他端部）
9	ネジ
1 0	キャップ
1 1	透孔
S	靴
L	反転位置